

独断

注目商品

# REVIEW

## ニラ・業務用小ネギの収穫に 韓国製のバッテリー駆動の収穫機

野菜収穫機

5 ニラ収穫機

LHLI200



参考価格：1,750,000円

■お問い合わせ  
鈴商株式会社  
〒508-0036  
岐阜県中津川市東宮町 1-13  
TEL：0573-65-2323 FAX：0573-65-3280  
<http://www2.gol.com/users/suzushyo>

国内のニラの生産量は約5・6万t、のべ面積にして約2200haに及ぶ。高知県、栃木県、福島県の主産地を中心に夏場の露地栽培、ハウスでの周年栽培が盛んである。ニラは1年間に幾度も収穫できる回転率の高い作物だが、収穫作業は機械化が進んでいない。かがんだ姿勢で鎌による手作業で刈り取る作業が一般的である。

ニラの収穫作業は世界でも機械化されていないのだろうか。動画サイトYouTubeを検索してみると、デ

ンマークのASAILIFT社が製造している2条刈トラクター牽引タイプの収穫・加工機をはじめ、多条刈の自走式のハーベスターなどがあるようだ。しかし、我が国の刈取り、調整、出荷という体系にはこれらが適応できそうにない。

### 歩行式1条刈り式の電動タイプ

そこで、今回紹介するのは、韓国製の電動ニラ収穫機LHLI200である。鈴商株はニラに限らず、業務用小ネギの収穫にも利用可能だ

として、輸入販売を始めた。同機は歩行型1条刈り方式で搬送部は電動だ。刃厚1・4mmの回転刃でニラをシャープにカットした後、垂直に刈り取ったニラを軟らかいスポンジベルトでやさしく掴み、水平45度に回転させて収穫トレーに搬送する。フレームはニラ特有の金属腐植物質によるサビから守るステンレス製を採用している。軽トラックに載せられるコンパクトサイズで移動時も便利である。

通常、収穫作業はニラがシャキッとしている朝に、または朝と夕方の2回行なわれる。搭載しているバッテリーは1回の充電で約3時間稼働するので、現在の収穫時間に対応できるようだ。収穫作業の合間に充電をすれば十分に合う。

### 作業時間は手作業の約1/4

収穫能率は走行速度12m/分(2速)で1時間当たり約2・2a、作業時間は手作業の約1/4で済む。今まで手作業で行なっていたニラの捨て刈り作業、収穫作業労力を大幅に低減できるといふわけだ。

使用条件は、平地圃場であることと(高畝栽培には対応していない)、条間が30cm以上であること。回転刃の高さは切株高さに合わせて任意に

調整可能である。操作パネルや警告ラベルのほか取扱説明書も日本語に対応している。さらに仕様としても日本向けに非常停止ボタン、安定性の高いタイヤを装備した。機械化が必ずしも答えにはならないが、一人当たりの作業面積が増えたり、労働力の急な変動に対応できたりといった経営課題に取り組みたいの選択肢を提供できるのではないだろうか。

(加藤祐子)



刈取り時の搬送の様子

### ■機械の仕様

機体寸法	全長 2,150 × 幅 630 × 高さ 870 mm
重量	80 kg
タイヤ径	直径 400mm
ベルト幅	125 mm
回転刃径	直径 255 mm
動力	DC24V
変速段数	前・後進 4 速
機械効率	2.2a/h (2 速)
使用可能な条間	30 cm 以上
充電時間	約 2 ~ 3 時間 (バッテリーの状況により変化する)
稼働時間	約 3 時間 (使用状況により稼働時間は変わる)